



☆「のぶすま」は、高尾山頂にある高尾ビジターセンターにて配布しております。
 ☆ご希望の方はビジターセンター窓口までお越しください。

イベント情報

『地図を読もう（地図編・コンパス編）』

自然解説員が初心者向けに、山の地図の読み方とコンパスの使い方、「山座同定（山の名前の調べ方）」をお教えます。

実施日時：1月14・21日(土) 9:30~15:30
 対象：高校生以上
 定員：20人
 参加費：1,060円
 (保険代・地図代込)

『夜の高尾山・サル園ツアー ~飛ぶムササビと眠るサル~』

高尾山の野生動物のフィールドサイン（食痕や糞など）や、ムササビなどの観察を行います。最後に閉園後のサル園にお邪魔して、サルたちの夜の姿も観察します。帰りのケーブルカーから、動物の姿は見えないかな？解散時間までたっぷり高尾の動物たちの気配を楽しみましょう。

実施日時：2月18日(土) 14:40~19:30
 対象：小学3年生以上
 (※小学生は保護者同伴)
 定員：40人
 参加費：900円
 (保険代・ケーブルカー下り料金込)

◆イベント詳細・申込み方法◆

東京都広報12・1月号に掲載致します。
 ビジターセンターのホームページ↓からもご覧いただけます。
<http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

05年秋 紅葉見物に大にぎわい!



秋の行楽シーズンは高尾山にも大勢の人が訪れます。特に11月下旬の紅葉の時期には人出が多く、今年も大賑わいでした。この時期、高尾山ではケーブルカー乗り場や、公衆トイレの前に長蛇の列が出来ます。ビジターセンターでも、トイレのある階から階段を下って地階の展示室まで、トイレ待ちの行列が伸びていました。今年は去年よりも入館者は少なめでしたが、最も多かった11月23日には、1日で4,373人を数えました。

高尾山こぼれ話 おくむら解説員から

立ち止まってみると

寒い季節、私たちが通勤する時間帯にはほとんど登山者の姿はなく、薬王院を過ぎて山道に入ると、自分の出している音が気になるほどになります。そんな時は、立ち止まり、少しのあいだ音を出さないようにしてみます。



すると、カラ類たちが、こちらには全く気が付かずに、触れるくらいの距離までやってきたり、ニホンリスが近くの木で食事をしている姿を見ることが出来ます。

転がっている石になったつもりで過ごすほんの少しの時間には発見がいっぱいです。機会があったら試してみてください。

季節展示のお知らせ

「美味しい水ができるまで」
 高尾ビジターセンター地下1階

2006年春号
 次号予告 2006年4月1日発行予定
 解説員とおきートピックスー
 4号路自然情報マップ
 フィルムケースー観察お助けグッズ⑥ー
 鳥獣害ー環境問題⑥ー

編集後記

おかげ様で創刊1周年を迎えることができました。本年もよろしくおねがいします。C.A
 葉が落ちた木立に野鳥の姿が見やすい季節になりました。キーンと冷えた空気も気持ちいい。是非、高尾山の冬を満喫して下さい。M.O

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」

2006年1月5日発行Vol.5
 発行者
 東京都高尾ビジターセンター 自然解説員
 〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176
 電話 0426-64-7872 FAX 0426-62-9926
 ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

購読の方法

80円切手を貼った封筒（※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。）を送付希望分同封し、上記ビジターセンターまでご郵送下さい。

冬はみんないっしょにいます!

この時期、森の中を歩いていると鳥の集団に出会えます。寒い冬を乗り越えるためみんなで過ごしています。どんな鳥がいるのかそっとのぞいてみましょう。静かに歩いていると、この集団に出会えるかも♪



ちょこっと 登山情報

	日の出時刻	日没時刻	平均気温
1月1日	6:50	16:39	3.4℃
1月15日	6:50	16:51	
2月1日	6:41	17:08	3.9℃
2月15日	6:28	17:23	
3月1日	6:12	17:36	5.3℃
3月15日	5:52	17:48	

※記載した日の出・日没時刻は東京での時刻に、平均気温は八王子市の気温になります。

例年に比べ気温が低くなっています。登山道は凍結の恐れがありますので、足もとに十分注意して下さい。特に4・6号路と、高尾山頂から小仏城山へ向かう道は凍結しやすくなっています。引き続きケーブルカーの運行時刻が短縮されていますので、時間配分に注意しましょう。気温が低いので、防寒着をお忘れなく。



のぶすま

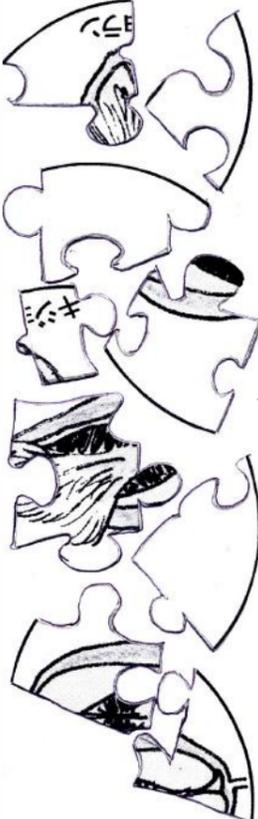
季刊 高尾ビジターセンターニュースレター

2006年冬号 Vol. 5

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。高尾山に住む人気者のムササビにあやかって「のぶすま」とつけました。

2号路の パズルクイズ!

下のパズルをハサミで切って右隣にある⑤の枠に当てはめてみよう。



この種は約14cmの緑色の実の中にたくさん詰まっていて、実が割れると少しずつ飛び出すようになっているよ。

2号路の パズルクイズ!

フワリと飛ぶのは何の種?

2号路を歩いていると足もとに、タンポポの種のように綿毛が付いた種が落ちているよ。この風に運ばれる種、いったい何の種でしょうか。答えは左にあるパズルを組み立てると出てくる植物だよ。

このフワの中にパズルをはめてね!



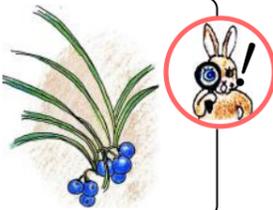
1・2・3月の ビジターセンター発

2号路自然情報

常緑樹の森と落葉樹の森が楽しめる2号路。この季節、2号路の北側斜面は絶好の展望ポイントです。1号路の賑わいから一步踏み込んで、静かな木立を楽しんでみては?

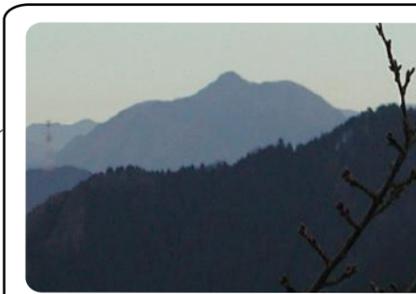
足元にも注目!

もしもしゃ頭のような細い葉をかき分けると、まるで宝石のような青紫色の丸い玉が見つかります。この玉はジャノヒゲの実で、冬から春先にかけて見られます。



①ヤマザクラの樹皮 ②・⑦モミの樹皮 ③・⑤・⑥スギの樹皮 ④オオモミジの樹皮

さあ、頼りはあなたの5感



北関東の山々

2号路の北側は葉っぱが落ちて展望がよくなりました!奥多摩や北関東の山々がよく見えます。写真は奥多摩の大岳山。別名『キューピー山』とも。天気が悪い日でも大岳山はその形ではっきりわかります。

2号路の南側【巨木】に注目!

ここでは7本の巨木が見られます。今回は登山道脇から1mを超えないところに生えていて、胸の高さの幹周りが200cm以上の木を選んでみました。どんな種類の木が多いでしょうか?

- ①ヤマザクラ ⑤スギ
- ②モミ ⑥スギ
- ③スギ ⑦モミ
- ④オオモミジ

マップの巨木ポイントと、写真のような樹皮をヒントに、みなさんも探してみたいかがですか?ただし登山道から外れたり、根っこをふみつけたりしないようお願いします!



観察お助けグッズ #5

双眼鏡

冬は双眼鏡が大活躍!葉っぱが落ちた木々のすき間で、必死にエサを探す鳥たちの姿が観察できます。思いがけず、近くで見られることも。まずは、目や耳をつかって動くものを探しましょう。慣れてきたら、双眼鏡を使います。この他にも、高い木に残る木の実を見たり、枝先についたウスタビガのマユをのぞいたり、双眼鏡は、普段の山歩きを数倍楽しくしてくれます。あなたの世界がひろがりますよ!



見たいものから目を離さないで...



そのまま目に双眼鏡をもって来る。これが意外と難しい。

高尾山からのぞいてみよう環境問題⑤

虫を放さないで

もったり買ったりした昆虫が飼いきれなくなったり、かわいそうだからなどの理由で山に逃がしたということも、よく聞きます。昆虫の場合、同じ種類であっても地域によって微妙な違いがあるので、違う地域のものを放すと雑種が生まれ、その地域の特徴が崩れてしまうという遺伝子汚染につながります。外国産の昆虫であっても同様のことが懸念されますので、飼育した昆虫は「放さない」「逃がさない」ということを念頭に置いて飼うことが大切です。私たちのかけがえのない共有財産である在来生物の生存を脅かすことのないよう、一人一人が心掛けたいものです。

